

7月19日(月) 終業式

初めに、今日のお昼にある男性からお電話があつたお話をします。

昨日のことですが、午後にバスに乗った時、混雑していたけれど、すっと席を譲ってくれた生徒がいたそうです。その方は、少し体が不自由な方だそうで、とても疲れていたので大変助かりましたとのことで、南港南中サッカー部の生徒にぜひお礼を言いたかったそうです。

いいことをすると、その人も幸せな気持ちになるし、周りの人も幸せな気持ちになります。お電話でお話を聞いて、先生もとてもうれしく思いました。

さて、いよいよ、明日から37日間の夏休みです。

今年も、昨年度と同じく新型コロナウイルスの感染が増加したため、しばらくの間、学校生活も1日2時間授業の日が続きました。また、家庭訪問や遠足などのたくさんの行事が中止や延期になりました。そして、まだしばらくの間は、感染に注意して生活をすることを忘れないでください。

そんな中でしたが、みなさんはしっかりと我慢強さを發揮して、いろいろなチャレンジもしてくれましたね。思い出に残る取り組みもたくさんあったと思います。お勉強はどうでしたか？

本日、皆さんのが手にした通知表を、おうちに帰ってご家族と一緒に見ると、一学期をしっかりと振り返って、よかつたことや二学期にがんばろうと思ったことを確認してください。夏休みは充実した生活を過ごしてほしいと思います。

また、夏休みは、新型コロナウイルス感染防止に努めて東京オリンピックパラリンピックが開催されます。テレビでの応援になりますが、代表選手の方々には頑張ってほしいと思います。

さて、人間は「知らないことを知りたい」とか「行ったことがないところに行きたい」という気持ちを持つのですが、この気持ちが私たち人類をどんどん進歩させてきました。今では、様々な国が地球以外の天体を調べようと、探査機を送っています。でも、実際に人間が行った天体はいくつあるか知っていますか？

今から52年前の1969年の7月21日にアメリカの「アポロ11号」が月へ行

き、宇宙飛行士2名が初めて月面を2時間ほど歩いて調べました。ちょうど夏休みに入った日のことです。

長さが 100m 以上もあり、横にすると運動場ギリギリほどの大きなロケットを使いました。現在の日本のロケットの約2倍の大きさです。

初めて月面に立ったのは、アームストロング船長で、第一歩の時に有名な言葉を残しました。「これは、一人の人間にとっては小さな一步だが、人類にとっては偉大な飛躍である。」です。この時の足跡は、50 年以上たった今でもしっかり月に残っているはずです。なぜかは、自分で地球と月を調べてみましょう。

現在、火星の調査が進められており、皆さん時代は火星を目指す話になるかもしれません。

この「アポロ計画」によって、可能となった技術により、私たちの生活に便利なものがいっぱいできました。パソコンもその一つです。

初めに話したように、知らないことを知りたいという気持ちが、たくさんの進歩につながってきました。夏休みは、自分の知らないことを調べるチャンスです。
さあ、どんなことにチャレンジしますか？

どうか、37 日間を「安全で、健康で、そして自分にとって有意義な夏休み」になるように過ごしてください。そして、8 月 26 日の始業式には、元気いっぱいの皆さんがたくさんの成果をもって登校してくることを期待します。

以上